

平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 コード番号 6061 URL <http://www.uni-green.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森坂 拓実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長

(氏名) 安部 豪

TEL 072-649-2266

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	5,485	3.7	641	5.4	644	16.5	290	43.4
29年6月期第3四半期	5,290	24.1	678	18.2	771	32.5	512	39.0

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 276百万円 (52.4%) 29年6月期第3四半期 581百万円 (62.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	60.41	
29年6月期第3四半期	106.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	7,515	6,330	84.2
29年6月期	7,428	6,150	82.8

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 6,330百万円 29年6月期 6,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		20.00	20.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,414	4.2	840	1.3	855	8.1	424	32.1	88.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	5,025,000 株	29年6月期	5,025,000 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	220,377 株	29年6月期	220,377 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	4,804,623 株	29年6月期3Q	4,804,681 株

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「(3) . 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済政策等の効果による企業収益や雇用環境の改善を背景に、消費の持ち直し等により景気は緩やかな回復基調が続いているものの、海外では今後の米国政策運営や為替相場の変動、アジア諸国の先行きに留意すべき状態が続き、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力し、経費削減などの収益力強化に係る取組を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,485,538千円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は641,404千円（同5.4%減）、経常利益は644,324千円（同16.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は290,245千円（同43.4%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、国内は引き続き景況感の緩やかな需要回復が進み、契約数の増加により増収となりましたが、米国子会社のローリング・グリーンズ・インク社の人材の流出による売上の低迷およびそれに伴う人材確保の費用の増加等により減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は4,114,013千円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益は614,101千円（同7.8%減）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは23.2%（前年同四半期24.0%）、関西エリアは23.5%（同21.7%）、海外エリアは△1.7%（同5.8%）となりました。

〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に引き続き取り組み、増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は665,235千円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益は53,834千円（同35.4%増）となりました。

〔小売事業〕

小売事業につきましては、the Farm UNIVERSAL大阪に昨年末にPET CAFEをオープンし、さらなる集客に努めましたが、天候不順により客足が伸びず、引き続き設備投資の償却負担等が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。尚、ガーデンセンターやグリーンショップ、フラワーショップ等の小売事業は、「母の日」や季節的要因により第4四半期が最も繁忙な時期となります。

以上の結果、当セグメントの売上高は771,602千円（前年同四半期比0.4%増）、営業損失は44,273千円（前年同四半期は46,393千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,515,877千円となり、前連結会計年度末に比べ87,372千円の増加（1.2%増）となりました。

このうち流動資産は3,748,500千円となり、前連結会計年度末に比べて505,722千円の増加（15.6%増）となりました。これは主に、現金及び預金が382,998千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は3,767,377千円となり、前連結会計年度末に比べて418,349千円の減少（10.0%減）となりました。これは主に、投資その他の資産が365,787千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,184,895千円となり、前連結会計年度末に比べて93,312千円の減少（7.3%減）となりました。これは主に、未払法人税等が90,653千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,330,981千円となり、前連結会計年度末に比べて180,684千円の増加（2.9%増）となりました。これは主に、利益剰余金が194,152千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績見通しを精査した結果、売上、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、米国子会社における人材の流出による売上の低迷およびそれに伴う人材確保の費用の増加等により、前回予想を下回る見込みとなります。そのため、平成30年2月13日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

売上高	前回発表予想	7,607百万円	今回修正予想	7,414百万円
営業利益	前回発表予想	911百万円	今回修正予想	840百万円
経常利益	前回発表予想	965百万円	今回修正予想	855百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	前回発表予想	525百万円	今回修正予想	424百万円

詳細につきましては、本日（平成30年5月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,898,710	2,281,708
受取手形及び売掛金	692,069	823,558
有価証券	250,765	200,206
商品及び製品	309,335	345,780
原材料及び貯蔵品	777	766
その他	100,420	105,410
貸倒引当金	△9,300	△8,929
流動資産合計	3,242,777	3,748,500
固定資産		
有形固定資産		
土地	946,274	946,274
その他	1,959,258	2,032,102
減価償却累計額	△1,140,734	△1,197,090
その他（純額）	818,523	835,012
有形固定資産合計	1,764,798	1,781,286
無形固定資産		
のれん	635,097	555,802
その他	25,992	36,236
無形固定資産合計	661,089	592,038
投資その他の資産		
投資有価証券	264,790	62,959
繰延税金資産	580,066	429,066
投資不動産	506,735	506,735
減価償却累計額	△109,150	△114,622
投資不動産（純額）	397,584	392,113
その他	522,115	514,631
貸倒引当金	△4,717	△4,717
投資その他の資産合計	1,759,839	1,394,052
固定資産合計	4,185,727	3,767,377
資産合計	7,428,505	7,515,877

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	216,434	234,728
1年内返済予定の長期借入金	99,996	91,675
未払法人税等	169,148	78,495
賞与引当金	—	43,913
その他	296,300	303,994
流動負債合計	781,879	752,806
固定負債		
長期借入金	66,676	—
退職給付に係る負債	172,071	169,432
長期未払金	206,754	206,754
その他	50,827	55,902
固定負債合計	496,328	432,089
負債合計	1,278,208	1,184,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	6,082,410	6,276,563
自己株式	△153,840	△153,840
株主資本合計	6,223,828	6,417,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△308	△294
為替換算調整勘定	△73,223	△86,704
その他の包括利益累計額合計	△73,531	△86,999
純資産合計	6,150,296	6,330,981
負債純資産合計	7,428,505	7,515,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	5,290,830	5,485,538
売上原価	1,892,597	1,962,101
売上総利益	3,398,233	3,523,436
販売費及び一般管理費	2,719,942	2,882,031
営業利益	678,291	641,404
営業外収益		
受取利息	5,753	1,375
受取配当金	226	238
投資不動産賃貸料	25,791	27,548
為替差益	68,797	—
その他	6,729	10,376
営業外収益合計	107,299	39,539
営業外費用		
支払利息	707	74
不動産賃貸原価	11,323	13,229
為替差損	—	21,684
その他	2,186	1,630
営業外費用合計	14,217	36,618
経常利益	771,372	644,324
税金等調整前四半期純利益	771,372	644,324
法人税等	258,686	354,079
四半期純利益	512,686	290,245
親会社株主に帰属する四半期純利益	512,686	290,245

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日）
四半期純利益	512,686	290,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	381	13
為替換算調整勘定	68,190	△13,481
その他の包括利益合計	68,571	△13,467
四半期包括利益	581,257	276,777
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	581,257	276,777
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（法人税率の変更等による影響）

米国において2017年12月22日（現地日付）に、2018年1月1日以降の連邦法人税率を35%から21%に引き下げるなどを柱とする税制改革法が成立しました。これに伴い、当四半期末の米国子会社における繰延税金資産及び繰延税金負債は、改正後の税率を基礎とした法定実効税率により計算しております。

この結果、繰延税金資産の金額が126,695千円減少し、法人税等調整額が130,722千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年7月1日 至平成29年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,404,560	1,142,262	1,395,862	3,942,686	579,919	768,224	5,290,830	—	5,290,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	204	—	204	53,961	583	54,748	△54,748	—
計	1,404,560	1,142,467	1,395,862	3,942,890	633,880	768,808	5,345,579	△54,748	5,290,830
セグメント利益（△は損失）	337,114	248,155	81,007	666,278	39,756	△46,393	659,641	18,649	678,291

(注) 1 セグメント利益の調整額18,649千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社であるローリング・グリーンズ・インクが、プレミア・プラントスケープス・エルエルシーから全事業を譲り受けております。

その結果、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「グリーン事業（海外エリア）」セグメントにおいて、658,445千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「グリーン事業（海外エリア）」セグメントにおいて、プレミア・プラントスケープス・エルエルシーからの事業譲受により、のれんが277,380千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年7月1日 至平成30年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,555,749	1,180,234	1,376,985	4,112,969	601,583	770,984	5,485,538	—	5,485,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,043	—	1,043	63,652	617	65,312	△65,312	—
計	1,555,749	1,181,277	1,376,985	4,114,013	665,235	771,602	5,550,851	△65,312	5,485,538
セグメント利益（△は損失）	360,919	277,012	△23,831	614,101	53,834	△44,273	623,662	17,742	641,404

(注) 1 セグメント利益の調整額17,742千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。